

★学長選の伝統を作ろう★

—全学的議論と民主的選挙を！—

去る10月1日に学長選の公示がなされました。本学の国立大学法人としての四回目の学長選となります。法人化十周年でもある今回の学長選では、「埼玉大学の学長選の伝統」を作ることが一つのテーマとなるでしょう。この十年間、学長選のたびに組合が訴えてきた、あるべき「学長選の伝統」をあらためて皆さんに訴えます：

(1) 学長選は、本学の進むべき道を全学的に議論する機会でなければならない。

全国の国立大学の「ミッション再定義」が事実上、文科省から押し付けられている今、このことはきわめて重要です。私たち自身が埼玉大学をどういう大学にしたいのか、そのためには中期的に何をしていくべきか、を学部・職種を越えて議論していかなければなりません。また、そうした議論ができる学長を選ばなければなりません。

組合ではUPでの特集記事、学長選候補者へのアンケート、立会演説会などを企画し、埼玉大学の将来に関する全学的議論を盛り上げたいと考えています。候補者の方々には積極的な参加をあらかじめお願いします。

(2) 学長選考会議は意向聴取（投票）の結果を遵守しなければならない。

ご記憶の方も多いでしょうが、六年前（前々回）の学長選では、自陣営に有利なようにと学長選考委員会の構成ルールを変更しようとした人々がいました。また、「意向聴取（投票）など参考資料にすぎず、学長選考委員会でいくらかでも引っくり返せる」とうそぶいた人々もいました（現にそうした事例は全国のいくつかの国立大学で起きています）。前回の学長選では、たいへん残念なことに、学部を代表する立場でありながら、意向聴取の結果に反する主張を学長選考会議で行った学内委員も出ました。こうしたことはすべて、選挙の民主的運営に反しています。

組合はこうした態度を強く批判し、「学長選考会議は全学教職員の意思、すなわち意向聴取の結果を遵守せよ」と主張し続けてきました。今回ももちろんそうです。というより、そろそろ、「意向聴取の結果を守ることが本学の学長選の伝統だ」と不安なく、胸を張って言える大学になろうではありませんか。リーダーの交替が民主的に行われることこそ、大学の安定の条件なのですから。

★給与削減分の一部返還に喜びの声★

UP5号で詳しくお知らせしたように、7月4日の団体交渉で、2012年度給与削減の見直しが今年度の6月期賞与の削減率見直しのかたちで実現しました。このことについて、学内から喜びの声が数多く届いています。ここにご本人に許可をいただいて、その一つをご紹介します：

「組合執行委員長殿、執行委員の皆様、並びに関連の教職員の皆様

お暑い中を誠にご苦勞様です。周到的準備とたゆまぬ交渉を私たちのために進めてくださることに心より敬服いたしております。組合員のためと言うよりも、大学全体の進展のために意欲的な活動を繰り広げてくださり、敬服いたし、心より御礼を申し上げたいと存じます。

このたび御連絡いただいた「2013年度6月期賞与の削減率を4.77%に圧縮する(3250万円程度の返還)」という成果は個人的には家計逼迫のなかでの明るいニュースです。誠に有り難うございます、

しかし、それにもまして、今回、組合執行部の皆様が、学長側との誠意ある議論の積み重ねの結果、このような成果を勝ち取られたことに安堵感を覚えました。

個人的には決して短くない時間を本学の教官として教育にも研究にも精力を投入してきたつもりです。しかし、法人化という大きな退歩、前学長時代の混乱への反省を元に、少しでも(どこか他大学に比しては極めて)まともな学長を頂く法人埼玉大の2期目を迎え、少々安堵したのもつかの間、今般の高等教育の新たな産業化、グローバル化各種事情などの国家主義的な反動的な力に大きな危惧と失望を持っておりました。埼玉大はまさしく揺れ動かされておりますね。私などは一種の虚無感すらも(定年も近いですし)感じている最近です。

しかし、しかし、このようななかで、ぎりぎりの線を巡っての攻防の中にも、誠に健全な労使の信頼関係の実際を伝えて頂き、それを体感させていただきました。「埼玉大も捨てたものじゃない」と思わされました。

組合の果敢な折衝の成果を共に喜びたいと思います。

誠に有り難く、心より皆様のご苦勞とご尽力に敬意と感謝を申し上げます。

2013年7月12日」

★組合事務室が引っ越しましたーお立ち寄り下さい★

生協第二食堂の改修工事に伴い、組合事務室もしばらくの間、プレハブ暮らしをすることになりました。それはそれで新鮮ですので、組合員・非組合員を問わず、ご相談したいことがある方はぜひ一度お立ち寄りください。新事務室は本部棟の裏のプレハブ一階にあります。

埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保255
TEL/FAX 048-853-5609 内線 3160 URL <http://19.pro.tok.com/~saidaikumiai/>
E-mail saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp

組合事務室は生協第二食堂内 月火木金、午後12時～夕方5時 開室